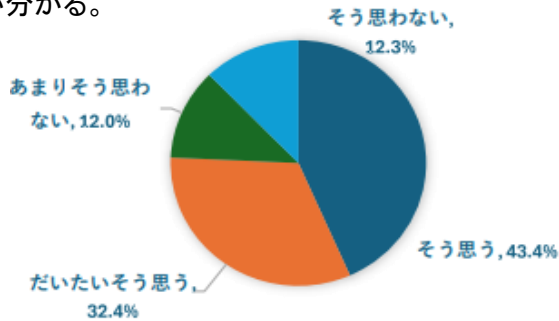


豊かな心の育成推進プラン

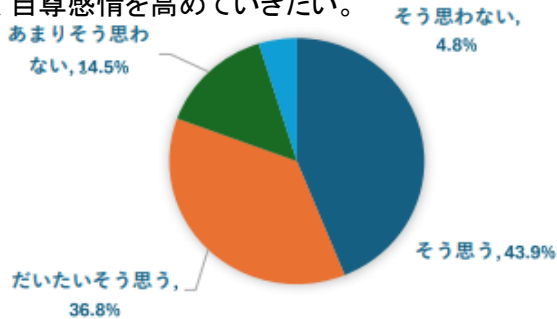
重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①道徳教育の充実を図り、規範意識を高めると共に、自分の思いを安心して表現できる学級作りを行う。 ②異学年交流や地域の方とのかかわりを通じて、自分も相手も大事にしようとする心情を育む。 ③YPアセスメントを活用し、学級活動(話し合い・係・集会等)の充実を図り、温かな人間関係作りにつなげる。
担当	人権・道徳・特活	

豊かな心に関わる本校の状況

低学年も高学年も学校生活について、おおむね肯定的にとらえている児童が多く、子どもが友達と協力したり助け合ったりしながら、学校生活を送っているのが分かる。



また、「地域の行事に参加したり、地域の人とあいさつしたりしています。」も、引き続き積極的に地域とかかわることができている児童が多い。今後も、地域とのつながりを意識しながら学習をする機会を大切に、六ツ川の一員であるという自覚をもち続けられるようしていきたい。



今年度の目標

自分も みんなも 大切にしたい思いやりの心を育てる

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

- 各クラス・各学年が友達との気持ちがつながり合うことのできる機会を設け、「だれもが安心して過ごすことができる」を目指した環境づくりを整備する。
- 年度当初に、学校生活についてのアンケートを行い、1回目の子どもの教育相談を行う。
- YPアセスメント1回目の実施。学級の実態に応じた社会的スキルを設定し、認め合う学級集団づくりにつなげる。
- たてわり(異学年)での活動・交流でかかわり合うよさを感じる時間を、年間を通して実施する。
- 人権研修の場を通して、教職員の意識の向上の推進を図り、寛容性を大切にした多面的な児童理解と具体的な支援・指導、協力体制を実践する。
- 道徳推進校として、公開授業や研修を通して、多様な視点から物事を考えたり生き方を見つめたりする力を育てる。
- 自分づくりパスポートを活用して活動を振り返ることで自身の成長や変容に気付き、自らを見つめ直し、自尊感情を育て、自己有用感につなげていく。
- スクールサポーターズ、学援隊、農援隊の方々の存在を知り、地域への愛着を高める。
- 60周年をお祝いする活動を通して、子どもたち同士や地域とのかかわりを感じる機会にしていこう。

下半期